

ワークショップ 8.31

タチヨナ×enoco企画アートワークショップvol.5

セルフポートレート写真ワークショップ『未来の姿を写してみる』

[トップ](#) >> [イベント](#) >> [タチヨナ×enoco企画](#) [子どもアートワークショップvol.5](#)「セルフポートレート写真ワークショップ『未来の姿を写してみる』」

このページの情報は、終了した事業に関するものです。



自分で自分のこと、カメラで撮影したことがありますか？ 今回のワークショップでは、写真スタジオを作り、プロが使う三脚とデジタル一眼レフカメラのセルフタイマー機能を使って、自分自身を撮影（セルフポートレート）します。テーマは「未来の自分」。今より少し先の自分を想像しながら、未来の自分を撮影しましょう。

写真には現実にあるものが写るので、私たちはつい写真には真実が写っていると思いがちです。しかし実は、現実と作り事が混ざるところに写真の本来の面白さがあります。セルフポートレート撮影を通して、その面白さを体感します。

撮影は二人一組で行い、お互いの撮影の手助けをします。撮影に必要な衣装や小道具などがあれば当日持ってきて下さい。自分がイメージする「未来の自分」を、どのように写真にしていくのか、話し合いを通してセルフポートレート作品を作り上げます。完成した作品はプリントアウトしてみんなで鑑賞し、enocoにて1週間ほどの展示を行います。展示終了後に参加者に作品を返却することを予定しています。

日時：2013年8月31日(土) 13:00-16:00

場所：大阪府立江之子島文化芸術創造センター(enoco) 地下1階ルーム6

大阪市西区江之子島2丁目1番34号（地下鉄「阿波座駅」下車、8番出口から西へ約150m）

対象：小学5年生～中学3年生

定員：10名(要事前申込/保護者見学可)

参加費：無料

持ち物：筆記用具、撮影時に一緒に写したいもの(衣装、小道具、一緒に写りたい人など、どんな事柄でもかまいません)

講師：松本美枝子

申込方法：

「セルフポートレート写真ワークショップ申込」とご明記の上、お名前、参加人数、学年、見学の有無、日中連絡のつくお電話番号をご記入いただき、大阪府立江之子島文化芸術創造センター(enoco)まで、メールまたはFAXにてお申し込みください。FAXの場合は返信用FAX番号もご記入ください。定員に達し次第、お申込受付を終了いたします。

メール：art@enokojima-art.jp FAX：06-6441-8151

いただいた個人情報は本お申込以外の目的には使用しません。

主催：NPO cobon

※定員に達し次第、お申込受付を終了いたします。
※いただいた個人情報は本お申込以外の目的には使用しません。

講師プロフィール

松本美枝子(まつもと・みえこ)

1974年茨城県生まれ。生と死、日常と非日常、そしてそれらの物語をテーマに、写真と文章による作品を展覧会、書籍等で発表。
主な書籍に、詩人・谷川俊太郎とコラボレートした写真詩集『生きる』(2008、ナナロク社)や、写真集『生あたたかい言葉で』(2005)などがある。
主な受賞に『第6回新風舎・平間至写真賞』大賞受賞、主な展覧会に「クリテリオム68 松本美枝子」(水戸芸術館)など。
パブリックコレクション：清里フォトミュージアム。また水戸芸術館、岩手大学、コーポ北加賀屋(大阪)など、全国で写真ワークショップを多数開催している。

主な展覧会

- 2013 個展「そのやり方なら知っている」(コーポ北加賀屋・adanda、大阪)
- 2010 「ヨコハマフォトフェスティバル2010」(横浜赤レンガ倉庫)
- 2009 「手で創る 森英恵と若いアーティストたち」(表参道、ハナエ・モリビル)
- 2006 個展「クリテリオム68 松本美枝子」(水戸芸術館)

[松本美枝子サイト](#)

サイトポリシー	> enocoについて	> クリエイティブルーム	> enocoのプロジェクト	ツイート	^
指定管理者	> フロアガイド	> サポーター募集	> enocoの学校		
バナー広告募集	> enocoのつかい方	> メールニュース登録	> 大阪府20世紀コレクション		
プレスリリース	> 空き状況	> Q&A	> ライブラリー		
	> アクセス	> お問い合わせ	> サポーターものづくりルーム		
		> プラットフォーム 形成支援事業			